

### 志津川広報センターに残った被災前の風景(1)



以前の志津川魚市場(大森)の「おすばでまつり」の賑わい風景



おさかな通りの交流館「汐風カフェ」この場所には町民の製作した品物がボックスで販売されていた。



南町に新設された「マルセン」さん、多くの来客の行列ができていた。



志津川湾の荒島の雪景色で以前の鳥居が写っている。



被災前の防災庁舎の玄関、この姿が鉄骨だけの建物と化した。



志津川地区の商店街のイベントに中学生も参加し、売り出しを盛り上げた。



戸倉小学校の体育館建設の空地となった頃



志津川上の山の避難所になった海円寺の「節分の豆まき」の風景



志中から駅前・汐見町の商店街と病院が見える。雪景色も美しい志津川地区があった。

## 未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない

平成30年(2018年) 4月の出来事  
~ 地元報道より ~

### 南三陸町

- ◆南三陸町立伊里前小学校でプールの新築工事が完了。6月中旬頃に落成式を行い、供用開始となる。
- ◆南三陸町の職員辞令交付式が、町総合体育館ベイサイドアリーナで行われた。本年度の職員数は前年度より27人少ない292人。新規採用は13人で前年度から8人増やした。
- ◆春の交通安全が4月6日~15日まで全国一斉スタート。重点目標は子供と高齢者の事故防止などに総力を挙げる。
- ◆南三陸町の名物「キラキラ春つげ丼」(春バージョン)が、観光客を楽しませている。春つげ丼は4月30日まで。
- ◆南三陸町歌津伊里前の沿岸で白いナマコが見つかった。体長10cmほどで、タコ籠に入っていたのだという。

国立研究所45年推計公表によると、南三陸町は2045年時点の人口は6451人。現在より半減するとの見通しが示された。高齢化がさらに加速し、少子化対策や移住・定住策などが急がれる。

- ◆南三陸町の「地域おこし協力隊員」の辞令交付式が4日、町役場で行なわれた。関東地域から移住した新規隊員1人と任期更新者に委任状を手渡した。
- ◆春の交通安全運動の期間中(6日~15日)子供と高齢者の事故防止などを目標にさまざまな活動を展開する。死亡事故ゼロへ、関係団体約100人が参加して、出動式が行われた。

南三陸町の志津川郵便局が本設で7年ぶりに開局する。9日から新局舎で業務を開始する。

- ◆東日本大震災で被災した南三陸町戸倉駐在所が戸倉沖田地区へ移転新築した。7日に開所式が行われ、住民は地域の安全安心と治安向上に期待を寄せている。

◆気仙沼・本吉地方の各小学校で、新入学児童の登下校がスタートしたのに合わせ、防犯協会関係者や教職員、地域住民などが道に不慣れな子供たちに危険箇所、注意点を教えている。

南三陸町志津川の「さんさん商店街」が新設本設移転して1年が経過した。三陸道の延伸により来場者は仮設商店街時代の1.6倍65万人となった。5月の連休から8月までは上々の来場者数があったが、この1年で駐車場不足や接客対応への不満の声が多かったという。

◆南三陸町で10日交通安全街頭キャンペーンが行なわれた。歌津地区柞沢地内の国道45号交差点で実地し、ドライバーに無事故と安全運転を呼び掛けた。

南三陸町の3月末の人口は1万3141人で、53人の減少。復興事業の作業員の転居や地元高校生などの町外への進学・就職が主要因とみられる。

◆南三陸町歌津の伊里前川で、シロウオ漁が始まった。今季は河口付近の水温が高く、例年より2週間ほど早い。5月13日にはハマレ歌津商店街で「しろうおまつり」が予定されている。

◆13日南三陸町志津川湾のいけすで飼育されていたサケの稚魚の海中放流が行なわれた。今年には昨年より2週間早い3月14日に、小森ふ化場から稚魚を海中いけすに放し飼育してきたもの。

◆南三陸町は災害公営住宅の空き室の一般公募を16日から27日までおこなう。被災者以外の一般開放を行なっていて、今回で3回目の募集となる。

◆12日町総合体育館「ベイサイドアリーナ」で南三陸町スポーツ少年団の団結式が行われた。スポ少10団体と2教室から約170人が参加した。

◆台湾の高校生21人が16日、学習旅行で来町した。きりこ作りや、防災学習などを実施したほか、民泊する。

◆南三陸町にサクラを植える支援活動している東京の団体が、21日志津川中央地入り口付近で「桜植樹祭」を開く。2012年から支援活動を続けていて、これまでに1600本を植樹している。

◆19日午後2時30分頃南三陸町歌津の寄木漁港で、地元漁業の男性(79)が海中に転落した。

右手に4針縫うケガを負ったが、命に別状はない。

南三陸町神割崎キャンプ場の「手ぶらでキャンプ」が好評。キャンプ場は4月1日から11月30日まで開場していて、手ぶらでキャンプは、1日3組限定で予約は3日前まで(46-9221へ)。

◆19日東京ヒルズライオンズクラブ(林敦美会長)が、南三陸町志津川保育所におもちゃや遊具を寄贈した。社会奉仕事業の一環として「子供たちを笑顔にしたい」との思いで届けた。

20日午後5時36分頃、南三陸町志津川廻館の町営志津川西復興住宅B棟でボヤがあった。台所の壁紙が焼けたが、けが人はいなかった。

◆21日南三陸町入谷にある「ばば山」に、シダレモモの苗木50本を植樹した。「ばば山が入谷地区の新名所になるように」と東北電力気仙沼営業所有志16人が参加して植樹した。

22日日本設移転した南三陸町歌津の商店街「ハマレ歌津」の1周年記念イベントが行なわれた。格安セールや買い物客に記念品を贈るなどのサービス、餅まきを行なった。

◆南三陸町立志津川保育所で、幼年消防クラブちびっこ消防隊の入会式が26日行なわれた。3歳以上の49人が参加した。

◆南三陸町図書館で「こどもの読書週間」にちなみ、子供向け図書を集めた特設コーナーが設置された。幼少期から本に親しみ、読書の楽しみを知ってもらうための週間。

◆南三陸町婦人防火クラブ連合会総会が26日町役場で開かれた。役員選では齋藤会長を再選し、役員数は現在の25人から9人減らし16人にした。

南三陸町志津川市街地で26日町道3路線が開通した。町役場や病院などへのアクセス、集団移転地間をむすぶ連絡道路。高台への避難道など利便性や安全性の向上が期待される。

◆南三陸町高齢者生活支援施設が完成し、27日落成式が行われた。子供からお年寄りまでが利用でき、デイサービス施設、地域の支え合いの生活サービス提供施設がある。